



俱企振 第 45 号
平成 19 年 5 月 1 日

国土交通省道路局長 様

俱知安町長 福島 世

中期的な計画の作成にあたっての意見について

このことについて次のとおり意見を提出します。

記

◎今後の道路政策や道路の整備・管理について

〔重点化を進める上で特に優先度の高い政策〕

高速交通網の整備が最も優先されるべきと考える。

北海道は需要が少ないのではとの批判があるが、高速交通網の整備は単に需要の大小を指標にすべきではない。必要性の高さが主張されるべきであり、都市間距離が長いため、医療・物流面からも高速交通網の整備が急務である。

また、北海道の持つ優位性（強み）である、食料基地・自然環境・観光などをいかに活かし、より自立にむけた地域生活や経済の確立が求められることから、高速交通網の整備は急がれるところである。

〔効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと〕

地域の状況に応じて、道路の規格・構造を柔軟に設定することや事業の迅速化を重視し、適切なメンテナンスによる維持管理費を縮減すること。また、冬期の除雪体制について、道道や町道との連携体制が構築できないかの検討も進める必要があるのではないかと考える。

〔その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること〕

地方道整備及び再整備に対する財政支援措置。

国道・地方道に関する道路情報提供システムの一元化。

(企画振興課企画係)